

MESSAGE FROM
GRADUATES

卒業生からのメッセージ

保健医療学部 鍼灸学科

大切な人を目指すゴールに送り届ける。
やりがいの大きな仕事です。

はり師・きゅう師

京葉治療院 勤務

千葉県立小金高等学校 出身
[2014年卒業]

樋口 健太さん



初めて出会った鍼灸師は花田学園出身の先生。
治療家を目指して打ち込んだ授業。

鍼灸師を志すようになったのは、中学生の頃、母親が鍼灸の出張治療を受けていたことがきっかけ。自身も部活中のケガを診ていただき、鍼の効果を感じていました。その先生が花田学園出身だったことから東京有明医療大学に入学。在学中は実際の治療現場で学ぶ機会も多く、国家資格のためだけでなく、治療家にふさわしい知識と技術を意識しながら、一つひとつの授業に熱意を持って取り組むことができました。

治療に欠かせない、こころとからだを
「診る」技術と「伝える」技術。

大学卒業後は、出張鍼灸・リハビリを専門とする治療院に就職。ご自宅で施術をすることは、患者さんの世界に足を踏み入れるということ。身体を診ることはもちろん、日常生活や人生の歩みから「患者さん自身が前向きになる治療」を考えることが大切だと感じています。患者さんには医学的な説明を望む方もいれば、わかりやすさを求める方も。カンファレンスや勉強会で技術を磨く日々が続いています。



健やかな美しさを引き出す美容鍼灸。
最高の技術とホスピタリティを求めて。

はり師・きゅう師

CALISTA(カリスタ株式会社) 勤務

埼玉県 大妻嵐山中学校・高等学校 出身
[2014年卒業]

小林 紗也加さん

将来の方向性を定めた鍼灸との出会い。
その可能性に魅了されています。

鍼灸との出会いは、バスケットボール部のマネージャーをしていた高校時代。大学で鍼灸を学ぶなかで、女性特有の疾患や美容への効果に興味を持つように。将来は、同じ女性のために自分にしかできないことを仕事にしたいと思い、美容鍼灸の道を目指しました。鍼灸師として施術にあたる今も、さまざまな症状に直接働きかけることのできる鍼灸の可能性はとても素晴らしいものだと感じています。

目標は、女性の美と健康を
トータルサポートできる鍼灸師。

勤務先は女性限定のサロン。最近、ご指名のお客さまも増え、後輩育成にも携わるようになりました。社内外の勉強会に参加し、鍼灸師としての研鑽を積んでいます。また、お客さまの生活に一步踏み込んだアドバイスができるよう、セルフケアの方法や漢方、食事、アロマなども勉強中。女性の人生をサポートできる鍼灸師を目指し、これからも努力を重ねたいと考えています。

保健医療学部 柔道整復学科

とにかく勉強や研究に没頭した大学時代。
そこには将来の仕事に直結する
学びがありました。

柔道整復師

小山接骨院 勤務

東京都 文教大学付属中学校・高等学校 出身
[2014年卒業]

小森 大樹さん

ケガを治すだけではない。
こころのケアも大切な仕事のひとつです。

施術、医療備品管理などを担当しています。TAUで実技の講師をされている佐奈木先生の治療や医療の考え方を勉強したいと思い、今の就職先を選びました。ケガをされた患者さんの不安を目の当たりにし、医療とはただ治療をするだけでなく、心も含めてケアしていかなければいけないことを痛感しています。



1番左が小森 大樹さん

大学での授業や実習、
研究を通して築いた基礎は人生の宝。

TAUは、私にとって人生の礎ともいえる場所です。先生方は学生に寄り添い勉学を教えてくださいますし、授業では仕事の基礎を学ぶことができます。実技の練習に明け暮れた実習室は今でも一番の思い出の場所です。学外実習では実際の患者さんとコミュニケーションする機会もあり、そのときの経験が今に生きています。



中央がボナパルトドリス真海さん

自分がどう行動するかで人生は変えられる。
周囲と連携しながら、
やりたいことに挑戦できる幸せ。

柔道整復師

ホグレルフィットネス戸越公園Lab 勤務

千葉県 東京学館浦安高校 出身
[2018年卒業]

ボナパルトドリス真海さん

卒業後も大学での学びを実践。
日々、試行錯誤の連続です。

大学で柔道整復学を学ぶうちに、ケガをした人への治療だけでなく、トレーニング方法や体の使い方についてアドバイスすること、一緒に体を動かしながら指導することへの関心が高まり、フィットネスジムに就職。チアダンス部で簡単な筋トレ指導を行ったときの仲間の反応や、他人にダンスを教える経験も気持ちの変化につながりました。現在は患者さんの心と身体のケアに、周囲と連携しながら試行錯誤する日々。大学で学んだ「患者さんとの接し方」が役立っています。

誰一人として同じではない。
様々な考え方に触れて成長した4年間。

少人数制教育のTAUでは、お互いの距離が近く、多くの人と関わり合い、助けられた4年間でした。全国各地から集まるクラスメイトや先生方、サークルの仲間は誰一人として同じではありません。多様な考え方に触れながら成長できます。自分がやりたいことを買おうと思えたのも、友人や先生方のおかげ。みなさんも楽しみながら自分の道を切り拓いてみてくださいね。

MESSAGE FROM
GRADUATES

卒業生からのメッセージ

保健医療学部 共通付帯教育

やりがいを感じるのは、
患者さんが再びスポーツをできるまでに
回復し、笑顔で病院を出て行くとき。

アスレティックトレーナー・鍼灸師

北千葉整形外科 美浜クリニック 勤務

東京都 八王子中学校・高等学校 出身
[2015年卒業]

大栄 翔吾さん



鍼灸師とアスレティックトレーナーの
資格取得を実現。

大学入学の決め手になったのは、何と言っても鍼灸師とATのWライセンス取得を目指せること。オリンピックに帯同した先生から繰り出される現場ならではの話は刺激的で、毎日の勉強に対するモチベーションにもつながっていました。鍼灸の理解を深める度に、痛みや症状の患部に直接作用できる鍼治療の有効性を体感。自信を持って施術にあたることのできる治療法だと確信できました。

さらなる夢に向けて、
これからも挑戦し続けます。

大学で学ぶなかで、痛みや症状の原因を取り除けるようなATを目指すように。その実現には、解剖・生理・運動に関する専門知識と、科学的な根拠に基づいた治療が行える医療設備が必要と考え、現在の職場にたどり着きました。今後の目標は、子どもの頃から憧れていたプロ野球のATになること。これからも自分に足りないものを見極め、学び続ける姿勢を大切にしていきたいと考えています。



選手たちの雄姿こそが誇り。
困ったときに1番頼れる存在になりたい。

アスレティックトレーナー・鍼灸師・柔道整復師

クボタスピアーズ 勤務 株式会社 リニアート 所属

東京都 日本体育大学荏原高等学校 出身
[2013年卒業]

櫛田 慎一さん

腰を据えてじっくり丁寧に鍼灸を学びたい
将来を見据えた確かな一歩を選択。

野球の選手になれないなら、せめて選手に寄り添う仕事がしたいという思いから今の職業を選択しました。学生時代から自分自身も治療に通っていたため、患者の立場からその職業に価値を見出したことも大きな理由です。トレーナーになるなら鍼灸の資格を取得したいと思い、4年かけてじっくり鍼灸を学べる大学への進学を決意。東京有明医療大学に決めたのは、伝統ある花田学園の大学だったからです。

ケガや痛みを克服した選手と
活躍できる喜びや勝利の感動を共有。

選手が治療によって痛みがラクになったという声を聞いたとき、ケガから復帰した選手が試合で活躍する姿を見たときは、自分のことのように嬉しくまた誇らしく感じます。今後は選手が本当に困ったときに頼れるATとして信頼を獲得していきながら、将来的には開業も見据えて頑張りたいと考えています。いつか大学の後輩と働ける日を楽しみにしています！

看護学部 看護学科

様々な人と交流することで成長。
多くのひとの支えになりたい。

看護師

東京大学医学部附属病院 勤務

神奈川県立百合丘高等学校 出身
[2013年卒業]

金丸 紘子さん



東洋医学や海外研修での学び。
視野を大きく広げた4年間。

看護師への思いが決意に変わったのは、看護師だった憧れの母が病気になる闘病生活を送っていたとき。病気で苦しむ人の助けになりたいと強く思うようになりました。在学時代は、鍼灸学科など医療系他学科との交流を通して他職種との医療連携や東洋医学についても学修。シンガポール国立大学への研修も刺激的な思い出です。シンガポールの高度な医療に触れ、改めて日本の医療制度を見つめ直す機会となりました。

看護師は、人の温もりを感じられる
素晴らしい仕事。

東大病院の看護師として入院から処置、検査治療、退院までをサポートしています。業務に追われることもありますが、医師や看護師スタッフ、コメディカルスタッフとの連携を図りながら成長を実感できる毎日。看護の積み重ねが患者さんやご家族の笑顔につながったとき、大きなやりがいを感じます。現在の目標は、緩和ケアについて理解を深め、認定看護師となること。多くの苦痛や不安を抱えるがん患者さんの支えになりたいと考えています。



患者さんの気持ちを自問自答。
心に寄り添う看護を。

看護師

東京大学医学部附属病院 勤務

千葉県 敬愛学園高等学校 出身
[2013年卒業]

伊東 愛さん

4年間を通じて行われた、
東大病院実習が確かな力に。

幼少の頃から看護師は憧れの職業。ピンクの制服を着た優しい看護師さんが大好きでした。その後、母が出産前は看護師であったことを知り、憧れはいつしか将来の具体的な目標に。東大病院との出会いは、1年次から始まる実習でした。東京有明医療大学の病院実習のほとんどが、ここ東大病院で行われています。看護師となった今も理想の看護師を目指し、日々の挑戦は続いています。

安全で質の高い看護を目指して、
看護スキルの向上に努める。

3つの外科が連携する混合病棟で、主に手術前後のケアを行っています。手術患部の観察や体液を排出するドレーン管理、抗がん剤のような内科的な処置、緩和ケアなど、その看護内容はさまざま。客観的・主観的な情報を集めて患者さんの状態を把握するアセスメントも大事な仕事です。大学時代から言われ続けてきたことですが、忙しい業務のなかでもつねに「なぜ？」という視点を持つことを心がけています。